

令和6年3月末の特殊詐欺発生状況について

- 1 3月中の発生状況
 - ・ 被害件数 2件
 - ・ 被害金額 55万円
- 2 令和6年3月末の発生状況
 - ・ 被害件数 11件（前年同期比－7件）
 - ・ 被害金額 約1,940万円（前年同期比－約3,504万円）
 - ・ 手口別

区 分	令和6年 3 月末			令和5年 3 月末			対前年比	
	件数	うち未遂	被害額 (万円)	件数	うち未遂	被害額 (万円)	件数	被害額 (万円)
特 殊 詐 欺	11	0	1,940	18	0	5,445	-7	-3,504
オレオレ詐欺	2	0	1,568	1	0	105	1	1,463
預貯金詐欺	0	0	0	2	0	219	-2	-219
架空料金請求詐欺	8	0	273	10	0	788	-2	-515
還付金詐欺	1	0	100	1	0	100	0	0
融資保証金詐欺	0	0	0	1	0	25	-1	-25
金融商品詐欺	0	0	0	1	0	3,710	-1	-3,710
ギャンブル詐欺	0	0	0	1	0	499	-1	-499
交際あっせん詐欺	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の特殊詐欺	0	0	0	0	0	0	0	0
キャッシュカード詐欺盗	0	0	0	1	0	0	-1	0

※ 金額は一万円未満を四捨五入して表記しており、内訳と合計の数値が異なる場合があります。

・ 年代別

被害者の年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代 (65歳未満)	60代 (65歳以上)	70代	80代	90代
人数	0	0	1	0	0	2	2	6	0	0

※ 高齢者率 72.7%

- ・ 男女別 男性8人、女性3人

3 被害の傾向

3月中は、架空料金請求詐欺が2件発生しました。

＜架空料金請求詐欺の被害例＞

パソコンでインターネットサイトを閲覧中、突然、警告音が鳴り、パソコン画面に「ウイルスに感染しました。パソコンがハッキングされています。〇〇セキュリティ社に電話して下さい。」などと表示され、表示された電話番号へ電話をかけたところ、片言の日本語を話す女性から、「ウイルスを除去するためには、セキュリティソフトのダウンロードが必要で、費用は5万円です。コンビニで電子マネーカードを買って支払って下さい。」などと言われたことから、女性の指示に従い、出雲市内のコンビニエンスストアで電子マネーカード5万円分を購入し、番号を相手に伝えて、だまし取られたもの。

＜架空料金請求詐欺の被害例＞

登録したマッチングアプリ内で「10億円もらえる」という内容のメールが届いたことから、相手とメールでやりとりをしていたところ、「クラウドサービスに申し込むと更に10億円もらえる」「クラウドサービスに申し込むにはコンビニで電子マネーカードを購入し、コードを送る必要がある」などと相手から指示されたため、相手の指示に従い、5回にわたり、電子マネーカード合計50万円分を購入し、電子マネーカードの番号を相手に伝えて、だまし取られたもの。

4 令和6年3月末の「声掛け」等による被害の未然防止状況

- ・ 未然防止件数 28件（前年同期比+14件）
- ・ 未然防止金額 約317万円（前年同期比+約57万円）
- ・ 未然防止率（阻止率） 71.8%

※ 金額は一万円未満を四捨五入して表記しており、内訳と合計の数値が異なる場合があります。